



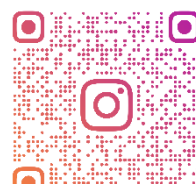
学校法人あけぼの学園
幼保連携型認定こども園 あけぼのほりえこども園
大阪府大阪市西区北堀江4-2-10
TEL:06-6531-0808



あけぼのほりえこども園HP



ID:@457trbnv



AKEBONO_HORIE_KODOMOEN

学校法人あけぼの学園 あけぼのほりえこども園

2025年度 Instruction



【教育目標】

全ての生活から健全な心身を育てる
全ての生活からよく考える力を育てる
全ての生活から愛情と自立心を育てる



ご挨拶

学校法人あけぼの学園は、1954年に大阪府豊中市で産声を上げました。現在は学校法人あけぼの学園及び社会福祉法人あけぼの事業福祉会として、豊中市内に乳幼児施設計7施設と、大阪市西区北堀江であけぼのほりえこども園の運営を行っています。

当園は、大阪市立堀江幼稚園を引き継ぎ「幼保連携型認定こども園あけぼのほりえこども園」として2019年4月より地域の多様な子どもたちの受け入れを始めました。私たちは、子どもたちの育ちを第一義に考え、子どもも大人も共に育ち合いながら地域に根差す施設運営を行っていきたくと考えています。

「あけぼのほりえこども園」は0歳から5歳までの子どもたちが通う大きな乳幼児施設です。多くの子どもたちと多様な大人が生活する場所ですので、はじめは少し戸惑うことがあるかもしれません。困ったことがあれば、いつでもご相談ください。

一方で、皆さんがイメージしていらっしゃるであろうこれまでの幼稚園や保育園とはきっと違う点がたくさんあります。ある人にとっては心躍るような、ある人にとっては聞いた事もないような「こだわり」のある園です。したがって、入園に関しては我々の考え方をご理解・ご賛同いただいた上でお決めいただきたいと思ひます。これは、我々が子どもたちにとって大切なことが何かを日々探求し、一人ひとりの育ちのために邁進する中で、保護者ともその価値観を共有し、子どもたちの育ちをより豊かなものにするためです。

“乳幼児教育の質が生涯に亘る”ということが様々な研究を通して立証されています。そしてまた、乳幼児期における非認知能力・社会的能力の育みこそ、小学校以降の認知能力を形成する土台になることも分かっています。そして、近年AIの進化によってもたらされた新たな変革は、Society5.0という新たな時代の幕開けを告げています。これまでのように、それぞれの人の知識量が評価された時代から、莫大なインターネット上の情報を正しく取捨選択し、それを生活の中で上手に活用する時代へと移行しています。

そのような現代を生きる子どもたちが大人になる頃、今存在する65%の仕事は存在しなくなるとも言われています。10～20年後には47%の仕事が自動化されていくという研究結果もあります。これから生き抜く子どもたちにとって、最善の最初学歴の場を、ここあけぼのほりえこども園でスタートし、子どもたちの大きな可能性をより伸ばすため、関わるすべての人たちと共に協力し、努力したいと思ひます。

あけぼのほりえこども園園長 安家 カ



①子ども中心主義

価値の中心は常に子どもです。どんな時でも子どもを中心に考えます。大人にとって都合の良いことを理由に決めることはありません。常に子どもの視点に立って、判断をします。

②子どもの育ちを肯定的に捉えます。

ついつい否定的に捉えてしまいそうな子どもの姿。見方を変えれば一人一人の子どもの良さや育ちに気づきます。

③日々の保育の取り組み、プロセスを重視します。

見栄えを意識した発表会のために、日々保育で取り組みをすることはありません。行事を保育の目的にせず、日々の保育の延長線上に行事を位置づけます。出来栄や大人の感動を呼ぶような保護者目線の保育ではなく、保育の繋がりを大切に子どもたちの小さな変化、成長を分かち合います。

④一人一人が主体的に選択して遊び込む遊びに重きを置きます。

文字や数、英語など、小学校以降に積み上げていく認知能力を積極的に教えることはありません。その代わり、目移りするほど充実した保育環境を整えて、子どもたちの遊びの選択肢を確保します。幼保連携型認定子ども園教育・保育要領で示されている、小学校就学前までに育てほしい10の姿、つまり生きる力、やり抜く力、忍耐力、協調性などの「非認知能力・社会（情緒）的能力/技能」を、遊びを通して様々な角度から育てます。

⑤子どもたちの自由を保障します。

大人の都合に合わせた時間を過ごすことより、子どもたちの主体的な考え方で納得しながら日々過ごすことの方が大切です。それぞれの子どもが自ら考えることを大切にします。そこには自由の権利が存在します。一方で、自由の権利を行使するためには、他人の自由を侵害しないというルールも存在します。決して自由放任ではなく、わがままが許されるわけではなく、決められたルールの中で最大限の自由を保障しながら、それぞれが納得して生活できる環境を整えます。

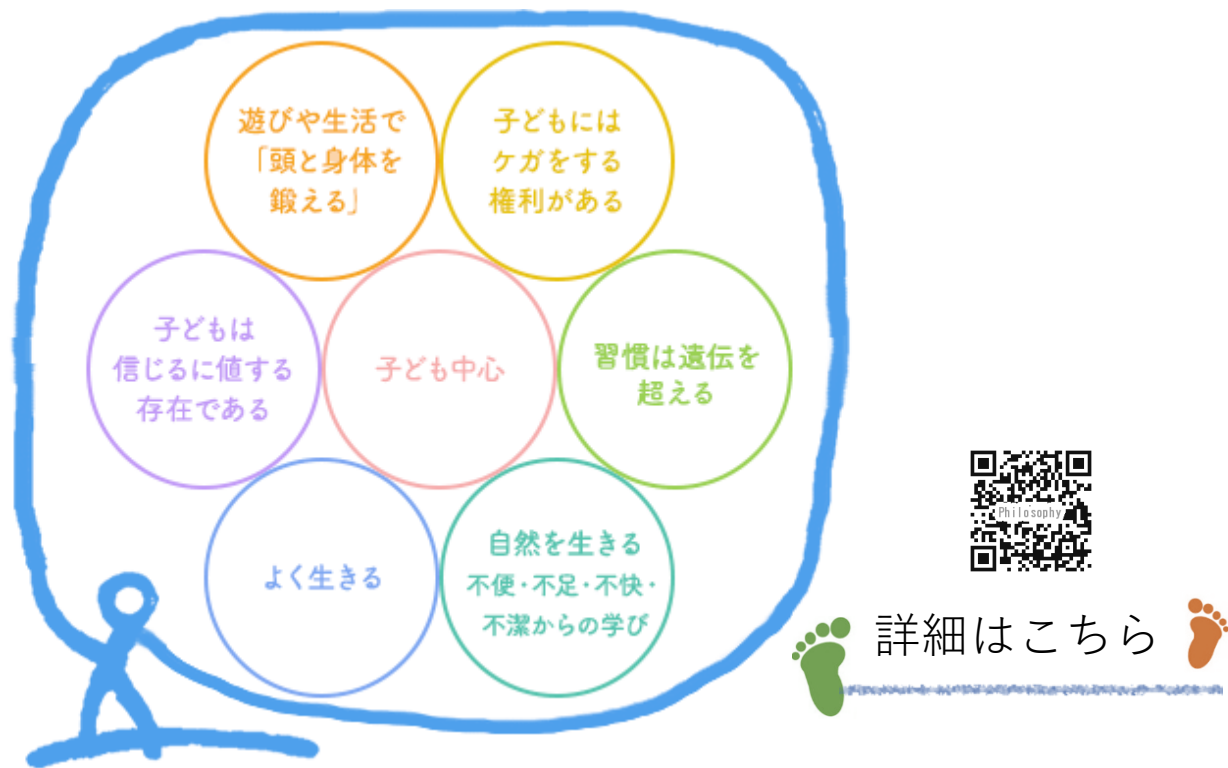
⑥ケガをするのは子どもの権利と呼びます。

法人の教育・保育理念にも掲げている通り、小さなケガもしないように、とにかく安全面の配慮ばかり、禁止事項ばかりでつまらない環境を作ることとはしません。園庭は敢えて凸凹にし、日々バランス感覚の強化を意図的に構成します。小さなケガが大きなケガの予防となるからです。思いきり遊べるからこそ、子どもたちの危機管理能力も向上します。擦り傷を作った子どもを見て、今日もよく遊んだと共感する、そんな感性を関わる大人が共有します。

⑦保護者の皆さんにご協力・ご参加いただきます。

ここで満足に子どもたちが過ごすために、保護者の皆さんにご協力いただくことが沢山あります。子どもたちが日々過ごす場所。満足に遊び込める場所。様々な形で保護者の皆さんの力をお借りします。また、保護者同士、せっかくここで出会えたのですから、子どもたちが友達同士になったのと同じように、仲良くなっていきたい。そして、ご近所付き合いができるようなそんな保護者集団になってもらいたいのです。お互いに助け合い、気持ちのいい迷惑の掛け合いをしながら子育てを支え合える関係づくりをしましょう。

【学校法人あけぼの学園 教育・保育理念】



【認可定員】

内訳	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
1号				78	78	78	234
2号				12	12	12	36
3号	9	12	12				33
計	9	12	12	90	90	90	303

【幼保連携型認定こども園とは何か】

認定こども園とは、幼稚園子ども（1号認定児）と保育園子ども（2・3号認定児）が混在する施設です。年齢も0歳児から5歳児年長組までと幅広く、1号認定児の教育時間終了後（14時以降）も、18:00（延長保育は除く）まで保育を受ける2・3号認定児がいます。基本的には2・3号認定児の保護者の方は就業をされており、その就労形態に応じた認定を受け、保育を受けられる時間が決定されます。

あけぼのほりえこども園も、1号認定児、2号認定児、3号認定児が混在した認定こども園です。幼児はそれぞれのクラスで学級担任制を取ります。教育時間終了後、2号認定児は長時間保育室へ移動し、長時間保育の担任の下で3～5歳の異年齢の縦割り保育を受けるといった流れになります。

【一日の流れ（例）】

	1号認定児	2 号認定児	3 号認定児
7:00		順次登園 選択遊び	順次登園 選択遊び
8:00			
9:00	登園・選択遊び		
9:30	朝の集い		間食・選択遊び
10:00	選択遊びor設定保育		昼食
11:30	昼食		
12:30	選択遊びor設定保育		
14:00	降園（預かり保育）	長時間異年齢保育	おやつ
15:00	↓	おやつ	
16:00		選択遊び 順次降園	
17:00			
18:00			

【年間行事予定】

	行事内容
4 月	入園式・進級式 クラス親睦会・個人懇談
5 月	お泊まり遠足（年長）
6 月	クラス懇談会
7 月	にじいろコンサート
8 月	夏休み（1号）・夏期保育留学※
9 月	祖父母招待日
10 月	個人懇談・きらりんびっく
11 月	あけぼのほりえフェスティバル 秋の遠足
12 月	わくわくミュージアム・おもちつき
1 月	冬期保育留学※
2 月	おはなしあそび会・個人懇談 お別れ遠足（年長）
3 月	卒園式・修了式

時期などが変更になる場合があります。
※保育留学は希望者のみ参加できる
プログラムです。

【保育料・その他費用（2025年度予定）】

内 訳	1号（3～5歳）	2号（3～5歳）	3号（0～2歳）
保育料	無償 大阪市の基準に準ずる		
入園金	50,000円	50,000円	50,000円
進級費	10,000円	10,000円	0円
特定徴収金（月額）	10,000円		0円
給食費（月額）	8,000円	8,000円	0円
布おむつ（月額）	0円	0円	0歳：4,850円 1・2歳：3,500円
布団リース（月額）	0円	0円	1,150円（希望者）
保護者会費（月額）	800円	800円	800円

※特定徴収金・給食費・保護者会費は1号認定児の長期休業期間中でも発生します。
（一年間の経費を12か月に割り戻しているため）
※その他実費費用が発生するものがあります。（年長おとまり遠足・アルバム代等）
※乳児の布おむつ代については使用しなくなった翌月より負担無しとなります。
※入園金・進級費は納入後の返金はありません。
※各費用は今後変更になる可能性があります。

【入園と同時に購入が必要なもの】

	品 名	色	サイズ	価 格
1	ハンドブック（乳児）	-	-	420円
2	食器代（共有）	-	-	3,500円
3	クラスカラー帽子	各クラス色	-	1,050円
4	木製名札（ひも付き）	-	-	300円
5	保護者用名札（2枚組）	-	-	800円

幼児計 ¥5,650円分／乳児計 ¥6,070円分

【幼児向け各種用品代】

	品 名	色	サイズ	価 格
1	ポロシャツ	白	100～130cm	3,300円
2	ドライTシャツ	ピンク・緑	100～130cm	2,500円
3	綿Tシャツ	オレンジ・黄緑	100～130cm	2,000円
4	ハーフパンツ	紺・ベージュ	100～130cm	3,200円
5	トレーナー	グレー	100～150cm	3,500円
6	通園帽子	ベージュ	54・56・58cm	3,200円
7	レインコート	黄色	身丈65・70・75・80・85cm	3,500円
8	割烹着エプロン	-	110・120cm	2,200円
9	上靴	（年少12月から使用）	14～21cm（0.5cm単位）	2,200円
10	乾布摩擦タオル	オレンジ	one size	600円
11	通園カバン	紺	one size	4,200円
12	鍵盤ハーモニカ	（年中から使用）	one size	6,000円
13	道具箱	-	one size	1,000円
14	クレパス	-	one size	820円
15	はさみ	-	one size	300円
16	粘土	-	one size	450円
17	粘土ケース	-	one size	350円
18	粘土ボード	-	one size	380円
19	カスタネット	（年少から使用）	one size	400円
20	リングベル	（年少から使用）	one size	550円
21	のり	-	one size	110円
22	自由画帳	-	one size	350円

※価格は今後変更になる可能性があります。
※通常は裸足保育ですが、避難靴として園で上靴をお預かりしています。
※3号認定は2歳児からユニフォーム・保育用品の購入が必要です。
※ユニフォーム・保育用品の平均購入金額は38,000円程度です。（1～5は種類・購入
数量とも選択購入）
※幼児は1の白ポロシャツ及び4の紺のハーフパンツが正装です。必ずご購入ください。

【特定徴収金（上乗せ徴収）について】

1号・2号認定の幼児になると、特定徴収金という形で月々10,000円の費用徴収を行います。

- ①国の配置基準を超えた職員配置
- ②職員の処遇改善
- ③平均水準を超えた園庭・保育室環境に対する環境充実費・環境整備費
- ④子どもたちが惜しみなく活動に使うことのできる保育教材費

上記4項目に対することに使用します。

通常の国の基準を超えた人員配置により、より細やかに子どもたちの小さな成長に目を向けられるように人員配置を行います。それに加え、子どもたちが安心して遊びに没頭できる充実した環境を更に整えていきます。

※国の情勢などにより、年度の途中でも費用が変更になる場合があります。

【預かり保育について（1号認定児）】

月曜日から金曜日までの教育時間終了後、保護者の都合に応じて利用することができます。専用のアプリから予約いただきます

	時間	金額	昼食	定員
通常保育日	14：00～17：00	600円		50名
午前保育日	11：00～17：00	1,200円	お弁当持参	50名
土曜日	9：00～17：00	2,000円	ごはん提供	若干名(要申請)
長期休業日	9：00～17：00	2,000円	ごはん提供	50名

※各学年の教育時間終了時よりお預かりします。

※17：00を超えての利用はできません。

預かり保育希望者の数によって、利用希望日に毎回利用できることをお約束できるわけではありません。また、長期休業中（春・夏・冬）でも園の事情で実施しない日もあります。

2号相当の就労等の状況で、1号認定として入園される場合、新2号認定を受けることで（別途手続きが必要）、一日450円の上限で利用料が還付される仕組みがあります。詳しくは個別にお問い合わせください。

【1号認定児の保育時間】

	年少・年中		年長
登園時間	8：50～9：10		
降園時間	通常保育	14：00～14：15	14：15～14：30
	午前保育	11：00～11：15	11：15～11：30

※状況によって変更になる場合があります。

職員の保育の質向上のため、基本毎月2回の水曜日を午前保育とします。認定こども園として園内全体での研修の機会がなかなか取れない中で、午前保育によって時間を作り出していくためです。

午前保育・通常保育等の案内は、前月1日に予定表にてお知らせします。

また、クラスごとに担任から保護者に向けて当日の活動内容の伝達を行う際、混雑を避けるために降園時間には時差をつけています。

【2号・3号認定児の保育時間】

2号・3号認定児の保育時間は、標準時間と短時間の認定に分かれていますが、当園では事由や状況によって施設として保育時間を決定します。

各認定における最大保育時間は下記2つに分けています。

標準時間認定 7：00～18：00 / 短時間認定 9：00～17：00

※保護者のお仕事がお休みの場合には、2号認定児は1号認定の降園時間での迎えにご協力いただきます。3号認定児は基本的には在宅をお願いします。理由があり登園する場合には、1号認定の降園時間での迎えをお願いします。また、特別支援児としての保育認定、産休育休や勤務時間によっては16：00のお迎えをお願いします。（保護者と相談の上で決定します）これは、普段は保護者とゆっくり過ごす事が難しい2号・3号認定児が、出来るだけ家庭で共に過ごすことを大切にしたいという想いからです。

<延長保育>

	対象時間	延長保育料
標準時間認定	18：00～19：00	18：16から15分ごとに300円
短時間認定	17：00～18：00	17：16から15分ごとに300円

※11時間を超える保育の実施はありません。



【特別支援児の受け入れについて】



あけぼのでは、社会の中に多様な人たちが共に暮らすことは当然であるという考えから、大阪市の「指定園」の認定を受け、障がいを持った子どもたちの受け入れを行っています。入園後は特別支援学級等ではなく、可能な限り通常のクラスの一員として生活をします。ただし、該当の児童を優先的に入園させるわけではなく、通常の入園手続きに則って公平に入園いただきます。また、加配職員配置の関係上、特別支援児の受け入れについては上限を設けさせていただいています。

近年は発達の歪みが指摘されるケースが大変多いこともあり、きちんとした理解を深めながら適切な個別の配慮を元にした援助を行いたいと考えていますので、当初より特別支援の対象となる手帳をお持ちの場合や、お子様の発達について検診の際に指摘のあった場合には、入園前に必ずご相談ください。親子面接及び入園前体験保育の際にこちらからも確認させていただく場合があります。また、そのような状況で診断がおりていない場合には、関係機関と連携し診断書や各種障がいに応じた手帳を取得し、大阪府・大阪市の特別支援補助金を取得の上で加配人員の人件費、特別支援に関する職員研修などに充てて対応しますので、補助金申請のために各種証明書の取得に対するご協力をいただきますことをご了承ください。特別支援児一人一人の育ちをより良くするために、ご理解いただく必要がございます。

※入園手続きを行った後でも、特別支援児の受け入れ上限を超える場合には入園いただけないことがありますので、必ず事前にお申し出ください。



【乳児の保育について】



乳児の保育については育児担当制及び布おむつの使用が特徴です。育児担当制では、特定の子どもに対して排泄及び食事における関わりを基本担当が行い、この時期に獲得されるべき愛着形成の基礎を築きます。

布おむつについては、紙おむつよりも布おむつが優れているという考え方のもとで導入しているのではなく、排泄に対する大人の関心が紙おむつを使うことで薄れてしまう中、敢えて布おむつを使い常に子どもたちの排泄に関心を寄せられるようにしています。排泄に対する大人と子どもの関わりを大切にする事で愛着関係を深め、子どもたちは安心感の中で穏やかに過ごすことができるという点を評価し導入しています。

布おむつは0歳児4,850円、1・2歳児3,500円でリースし、保護者の方が洗う必要はありません。おむつが外れた翌月からは、布おむつ代の費用負担はなくなります。



【おひるごはんの提供について】



同じものを友達と食べながら話をし、共感しあうこと。

“食”によって知ることのできる季節。

扱い方一つで割れてしまう陶磁器の食器を使うことによって身につくこと。

食事は子ども達の育ちの中で最も大切なものの一つです。1954年にあけぼの幼稚園ができて間もなく、園で作ったお昼ごはんの提供は開始されました。豊かな食事と保育は一体だと考えています。

あけぼのでは給食のことを『ごはん』と呼び、和食を中心としたオリジナルの献立を栄養士が作成し、自園の厨房で調理しています。無農薬・低農薬の野菜を基本とし、旬の食材や和食材を積極的に取り入れ、昆布や鰹節などから取ったお出汁を使った温かで風味豊かな味が提供されます。近年、家庭で口にできる機会の少なくなった和食材を中心とする幅広い食材に触れることで、栄養価に加えて食への興味の幅も広げたいと考えています。

食物アレルギーにより配慮が必要な場合、基本的には除去の対応を行いますが、代替品をご用意いただく場合もあります。

ごはんの提供日は、下記の通りです。

- 1号認定児：基本的に週4回提供
(週1回はお弁当日 または午前保育日)
- 2号認定児：週4～5回提供
(月に2回程度お弁当日)
- 3号認定児：月に1度のお弁当日を除いて毎日提供
(行事などにより若干の変更あり)



【ペーパーレス化と育ちの可視化について】



園の方針として、プリントやチラシなどの配布は最小限にし、様々な園生活に関するプリント・資料についてはウェブサイトから確認できるようにしています。スマホ・PCから各家庭でアクセスしていただき、必要に応じて各自でプリントアウトしていただきます。

また、日ごろの子どもたちの様子に関して、幼児は降園の際に各担任と情報共有する時間を作り、その際に伝達します。それ以外に、月に一枚それぞれの子ども写真を使った「ポートフォリオ」という育ちの可視化の手法を通して、保護者の方に子どもたちの育ちを共有していきます。連絡帳などを通した文字のみの育ちの共有は基本行いません。(乳児はハンドブックを通した情報共有あり) また“あけぼのほりえチャンネル”として不定期で園内の活動の様子を動画でも配信しています。



園舎は保育室・職員室や会議室からなる棟と、一階部分が絵本コーナー兼カフェスペース、二階部分が大ホールの棟がつながったコの字型のレイアウトです。保育室と保育室の間にはコーナー遊びが展開しやすいようにスペースが設けられています。また、保育室同士が回廊で繋がり、遊びの様子が異年齢の間に視覚的に共有しやすいようになっており、さらに家具による間仕切りで保育室のレイアウトが自在にとれるように構成されています。また、園庭にも各所に遊びが広がる工夫を散りばめています。



屋上野草空間「空庭」



屋上菜園



プール（夏期仮設）



自由に壁に絵がかける部屋



雨水ポンプ



乳児園庭

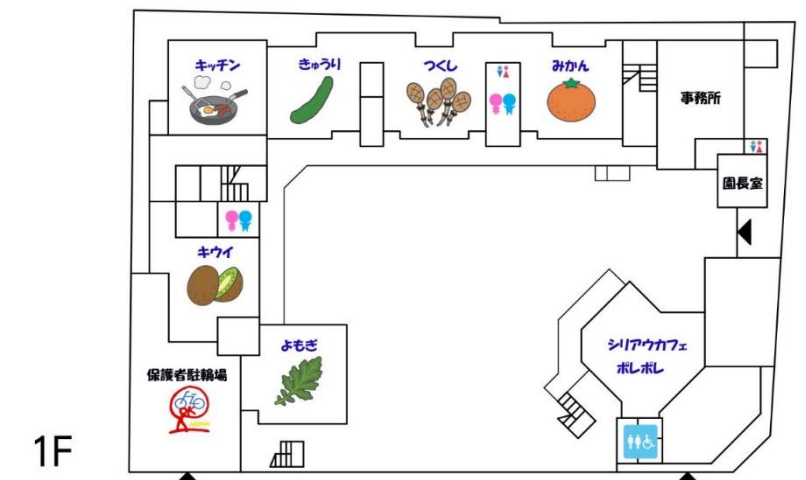
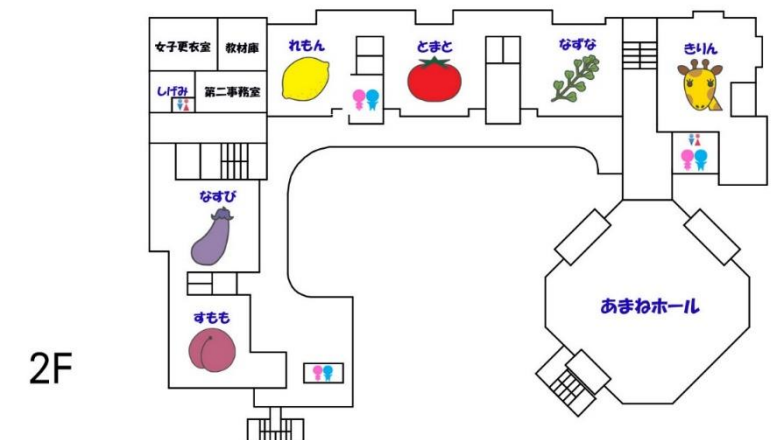
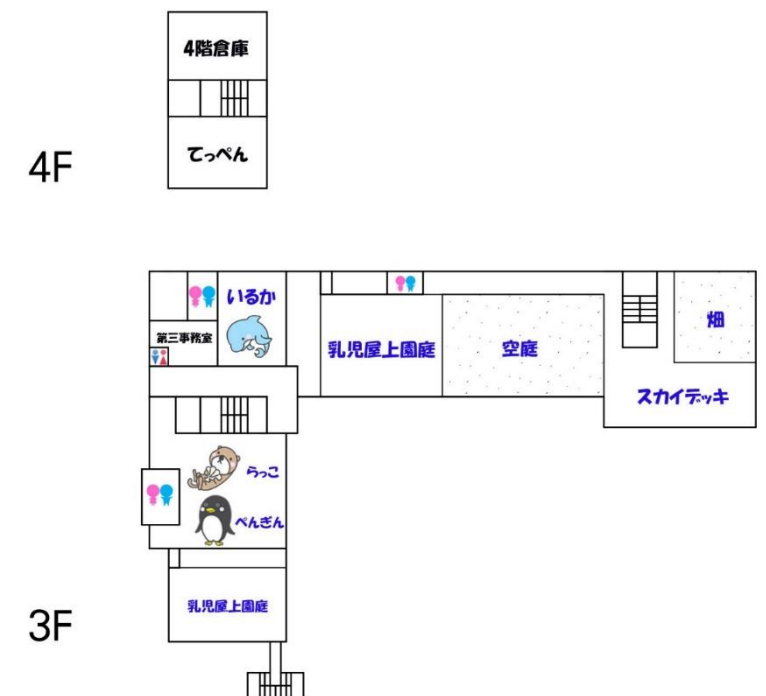


保育室



体幹を鍛える
大型遊具

※年度によってクラスの配置が変更になることがあります。



新入園に関するご案内

園HPにて随時情報を更新いたします
右記QRコードを読み取りの上ご確認ください



【優先入園枠：1号認定児年少のみ】

①あけぼのほりえこども園在園児きょうだい優先

対象：2024年度在園児（年長・年中・年少）のきょうだい

②あけぼのほりえこども園卒園児きょうだい優先

対象：卒園児のきょうだい

③元職員優先

対象：あけぼの学園またはあけぼの事業福祉会で勤務経験のある方

優先入園受付期間：9月2日（月）～9月6日（金）

※受付期間を過ぎた場合、優先権は消失します。

※2号・3号認定児の優先枠はありません。



【入園申し込みまでの流れ：1号認定児】 2025年度4月入園希望者向け



※2024年9月時点での予定です。

状況により変更となる場合がございますので、最新情報を園HPにてご確認ください。

STEP1 入園願書セット購入申込フォーム入力

右記QRコードを読み取り、事前に入力を済ませてください。
入力ができない方は、9月2日以降に園へお越しください。



STEP2 【必須】入園願書購入＜窓口にて1部：500円＞

受付期間：9月2日（月）～ ※平日10時～16時

STEP3 入園説明会参加（予約制）

開催日時：1回目 9月 7日（土）9時20分～
2回目 9月18日（水）13時20分～

STEP4 【必須】入園申し込み



【入園申し込みについて：1号認定児】



日時：10月1日（火）

受付時間 **午前7時15分～7時30分** ※7時30分最終受付締切

開始時間 **午前7時30分**（所要時間1時間程度）

場所：あけぼのほりえこども園

※詳細は園児募集要項に記載いたします。

・入園枠に対して応募者多数の場合は抽選を行います。

・入園確定後、入園金（50,000円）の納入・入園願書等書類の提出が必要です。

※入園金の納入後、入園を辞退されても入園金の返還はありません。



【入園申し込み～入園までの流れ】



＜1号認定児（3～5歳児）＞

前提：あけぼの学園との直接契約

①入園金（50,000円）納入・願書等書類提出

②親子面接・保育観察

③入園前内科健診・ユニフォーム等申し込み（11月下旬実施予定）

④体験保育・保護者説明会（3月上旬実施予定）

⑤4月の入園式・進級式後から登園

＜2号認定児（3～5歳）・3号認定児（0～2歳）＞

前提：大阪市（西区）の利用調整後、あけぼの学園との直接契約

①2号・3号認定の要件を満たすかどうか区役所に確認

②区役所にて利用申し込み

③区役所より入園内定の連絡

④入園金（50,000円）納入・願書等書類受け取り

⑤入園オリエンテーション参加

願書等書類提出・保護者説明会・親子面接・入園前内科健診・
ユニフォーム等申し込み

⑥4月の入園式後から就労に応じて登園・慣らし保育開始



【途中入園申し込みについて：1号認定児】



2025年4月1日以降に入園をご希望の方は、個別に園までお問い合わせください。定員に空きがある場合のみ、入園手続きについてご案内します。

【入園に関するお問い合わせ】

あけぼのほりえこども園 入園受付担当：タドコロ・フジタ

TEL：06-6531-0808（平日10時～16時）

MAIL：horie_entry@akebono.ed.jp

